

関係機関・団体長  
病害虫防除員  
農薬管理指導士

様

山口県病害虫防除所長

**中山間地域における葉いもちの長期予報（技術資料第2号）について**

このことについて、下記のとおり送付しますので防除指導の参考にしてください。

記

(1) 予報内容

ア 対象病害虫 **イネいもち病（葉いもち）**

イ 対象地域 **中山間地域**

下関市の一部（旧菊川町、旧豊田町）、萩市の一部（旧川上村、旧むつみ村、旧旭村、旧福栄村）、美祢市、周南市の一部（旧鹿野町）、岩国市の一部（旧本郷村、旧錦町、旧美川町、旧美和町）、山口市の一部（旧徳地町）、阿東町

ウ 対象期間 **6月下旬～7月下旬**

エ 発生量 **多**

（確率 少：0% 平年並：22% **多：78%** 表1参照）

(2) 予報の根拠

ア 葉いもち発生予察システム（BLASTAM）によると、葉いもちの発生と相関が高い広瀬、徳佐、秋吉台、豊田のアメダスにおける6月6日～20日の好適条件出現回数は5回（平年1.9回）で多かった（+）。（表2参照）

イ 6月20日に発表された気象予報では、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並み、日照時間は長い可能性が高い（±）。

(3) 防除対策

ア **ほ場を見回り、葉いもちの早期発見に努め、発生が認められる場合には、防除を実施する。**

イ 補植用苗は発生源となりやすいので、補植が終わり次第、早急に処分する。

ウ 今後の発生予察情報に注意する。

(4) その他

6月20日現在、本田における葉いもちの発生は確認していない。なお、平年の初発生日は6月25日である。

表1 葉いもちの感染好適条件出現回数と発生量との関係

中山間地域の6月6日 ～20日の好適条件出 現回数	過去19年間で各発生量が出現 した確率(%)			予測される葉いもちの 発生量 解説参照
	少	平年並	多	
0 回	52	48	0	少
1～3回	15	55	30	平年並
4回以上	0	22	78	多

表2 葉いもちの感染好条件出現状況

アメダス ポイント	6月														
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20日
広瀬															
徳佐							*					*			
秋吉台										*	*				
豊田							*			*	*				

注1) : 好適条件 \* : 準好適条件

注2) 過去19年間の、好適条件出現回数の平均は1.9回

表3 予測される葉いもちの発生量と防除の目安

予測される葉い もちの発生量	本田における薬剤使用要否判断の目安
少	薬剤防除を実施しなくても被害が発生する可能性は低い。
平年並	通常発生が少ないほ場では、薬剤防除を実施しなくても被害が発生する可能性は低い、通常発生が多いほ場等では薬剤防除を実施することで被害軽減効果がある。
多	薬剤防除の実施による被害軽減効果が高い。

用語の解説

「発生量」は過去19年間の発生ほ場率が1～5番目に高かった年を「多」、6～14番目を「平年並」、15～19番目を「少」としています。

【ほ場率が高い順番】

【 発 生 量 】

多

平年並

少

山口県病害虫防除所

担当 : 藤村・村本

Tel 083-927-4006

Fax 083-927-4071